

原単位の改善のための取組に関する状況 【2025年度提出分(2024年度実績)】※非特定事業者用

愛知高速交通株式会社

(Aichi Rapid Transit Co., Ltd.)

日本標準産業分類	コード	項目名
中分類	42	鉄道業
細分類 (申請事業)	4212	軌道業
エネルギー管理統括者	-	

【エネルギーの使用の合理化】

主たる事業における エネルギー消費原単位※注 (2024年度実績)	原単位分母				
	主たる事業の構成割合 %				
事業者全体の エネルギー消費原単位 対前年度比	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度
事業者全体の 5年度間平均原単位変化(%)					

※ 主たる事業は、必ずしもエネルギー消費量の多寡で決定されるものではなく、日本標準産業分類の考え方に基づき各事業者が決定したもの。

【電気の需要の最適化】

主たる事業における 電気需要最適化評価原単位 (2024年度実績)	原単位分母	
	事業場(本社)で使用する電気	
DR実施日数		
事業者全体の 電気需要最適化評価原単位 対前年度比		
事業者全体の 5年度間平均原単位変化		

【ベンチマーク指標の状況(合理化)】

ベンチマーク区分		
目指すべき水準		kWh/t以下
ベンチマーク指標の状況		
ベンチマーク区分		
目指すべき水準		kWh/t以下
ベンチマーク指標の状況		
ベンチマーク区分	-	-
目指すべき水準	-	
ベンチマーク指標の状況		-
ベンチマーク区分	-	-
目指すべき水準	-	
ベンチマーク指標の状況		-

銘柄コード	-
法人番号	9180001068028

エネルギー総使用量	3,535	GJ	91	kWh
前年度エネルギー総使用量			-	kWh
非化石エネルギー総使用量	-	GJ	-	kWh
調整後温室効果ガス排出量	-	t-CO ₂		

【取組の概要: 業界の事情等を考慮した取組について(定量指標)】

【取組の概要: 業界の事情等を考慮した取組について(定性的事項)】

1. エネルギーの使用の合理化に関する事項
近年、事業場(本社)で使用する照明を全てLED化した。
さらに入感センサー照明の活用、不必要的照明の消灯・間引きなど省エネ対策に取り組んでいる。

2. 非化石エネルギーへの転換に関する事項

事業場(本社)は、開業時から太陽光発電システムを導入しており、非化石エネルギーへの転換に努めている。

電気の非化石比率	事業場(本社)で使用する電気				
目標(2030年度)	3.0%				
直近5年度間の実績値	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度
				2.8%	2.5%
目安設定業種	-	-	-		
目安(2030年度)			-		
目標(2030年度)			-		
直近5年度間の実績値	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度
				-	
目安設定業種	-	-	-		
目安(2030年度)			-		
目標(2030年度)			-		
直近5年度間の実績値	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度
				-	

【取組の概要: カーボンニュートラルに向けて】

1. 自由記述欄(カーボンニュートラルの実現等に資する事業者独自の取組や革新的技術に係る研究開発等の取組について)

2. 関連リンク

(注意事項)

- ・赤枠囲み欄は必須記載です。
- ・再生可能エネルギー電気の利用の促進に関する特別措置法第37条第1項の規定による、賦課金に係る特例の適用を受ける期間においては、情報の公表を継続する必要があります。